

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名 1186	保健センター上野駅前再開発ビル関連公共事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
		目	01	保健衛生総務費
基本 施策	27 秩序の中にもにぎわいのある都市空間をつくる	細目	641	保健センター整備事業
		細々目	51	保健センター整備事業
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	130900		担当者
	名称	健康福祉部 健康推進課		氏名
			入本 理	連絡先
			22 - 9653	(内線) 2713

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	健康増進の拠点として本施設を整備することで、幅広い住民の健康推進・介護予防を行うことが可能となる。	
根拠法令・要綱等	地域保健法	
開始年度	平成 23 年度	関連事業
終了年度	平成 23 年度	都市マスタープラン・駅周辺整備事業・街なみ環境整備事業・道路プログラム策定事業・都市計画街路事業
H21 事業 内容	駅前ビルの4階に母子保健事業・成人保健事業の拠点となる保健センターを設置し、支所の保健センターをランチ機能と位置づけ、各事業の中核としての役割をめぐす施設とする。	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	伊賀市上野丸之内
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	鉄筋コンクリート造5F
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	14 人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
人			目標			
			実績			
人			目標			
			実績			

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
施設の利用者数			人	目標			
				実績			
事業の進捗率			%	目標			100
				実績			

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	0	0	0	0	0	0	427,656	
A の 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0	0	200	
	一般財源	0	0	0	0	0	427,456	
事業投入人件費 (B)	1 人	0 人	1 人	0 人	1 人	0.2 人	1,440	
フルコスト(A)+(B)	0	0	0	0	0	0	429,096	

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	空洞化する旧市街地において、人が集い・賑わう場の提供と、住民の健康のための交流の場として必要である。	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
	当初設定した計画を 60%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
効率性	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	各種保健事業・教室を集約して効率的な運営を行うことができる。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	清水 健 司
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	中心市街地に保健センター機能を有している施設が無く、各種事業・教室も他施設を利用して運営している。このため中核となる保健センターを建設し各支所保健センターと連携することで、健康推進・介護予防の伊賀市の拠点とする必要がある。
現時点における課題、その他	駅前ビル完成後の本庁とのワンストップサービスの連携がうまくとれるかどうか。
課題、その他に対する改善策	平成23年度移転までに、健康福祉部各分野の組織変更に取り組む。
(いつまでに、何を、どうする)	